

2013 年 4 月 4 日（木）

学力が高い人はどのような人か

—「学力が高い人」になるには何をしたらよいか—

開倫塾

塾長 林 明夫

春期講習中に、効果の上がる学習方法を Q and A の形で少しずつお伝えします。

Q 1：春休み塾長特別講座も今日が最終回。最後に、学力が高い人はどのような人か教えてください。

A：5 つあります。その 5 つとは

- (1) ①「読書により思慮深さ(しりょぶかさ)を身に付けている人」、②「新聞を読み、自分で考える力、批判的思考能力を身に付けている人」、③「学習の仕方を身に付けている人」、④「学習マナーを身に付けている人」、⑤「開倫模試や業者模試を毎回欠かさず受け、試験結果について毎回先生のカウンセリングを受け続けている人」と私は考えます。
- (2) 「読書により思慮深さを身に付けている人」は学力が高いと私は考えます。逆に言うと、学力を高くしたい人は「読書による思慮深さ」を身に付けるように努力するとよいと私は考えます。
 - ・「思慮深い」とは、ものごとを十分に注意深く考えること、ものごとを考えたり判断したりするときの態度が緻密(ちみつ)で慎重であることをいうようです。学校の各教科の教科書に紹介されている本や図書館などにある本をゆっくりと読み、大事なところは「ああ、これはこういうことなのか」、「作者はこれが言いたいのか」などと考えながら繰り返しゆっくりと読むことによって、思慮深さは少しずつ身に付いてきます。
 - ・「書き抜き読書ノート」を 1 冊づくり、自分のために参考になる語句や文章があったら、たとえ一行でもよいので書き抜いておきましょう。
 - ・読書を毎日している人は、読書をほとんどしない人と比べて学力が極めて高いと私は考えます。学力は読書量によって決まります。
- (3) 「新聞をよく読み、自分で考える力、批判的思考能力を身に付けている人」は学力が高いと私は考えます。
 - ・学力が高い人になりたければ、家庭や図書館にある新聞を毎日よく読み、自分で考える力、批判的思考能力を少しずつ身に付けることを私は心からお勧めします。家で新聞を購読していない場合は、学校の図書室に毎日行き、または、公立の図書館に週に 1 回以上行き、ゆっくりと時間をかけて、新聞をていねいにできればスミからスミまでなめるように読んでください。
 - ・新聞を毎日のようにスミからスミまでていねいに読む人は、新聞をほとんど読まない人と比べて学力が極めて高いと私は考えます。学力は新聞を読む量で決まります。

(4)「**学習の仕方を身に付けている人**」は学力が高いと考えます。

- ・開倫塾の自習室に毎日長時間いても、そこに存在するだけでは学力は向上しません。逆に、短い時間しか机に向かわなくても学力が高い人はたくさんいます。問題は「学習の仕方」です。
- ・では、どのような「学習の仕方」をすればよいのか。開倫塾の「理解」→「定着」→「応用」の「学習の3段階理論」に、その一つの例が示されています。それらすべてが突き詰めて考えたものばかりですので、ぜひ少しずつでもお試しください。全部やれば、短時間でも自分でも驚くほどの学力が必ず身に付きます。
- ・学力の高い人は、「学習の仕方」を身に付けた人です。

(5)「**学習マナーを身に付けている人**」は学力が高いと考えます。マナーは「躰(しつけ)」とも言い換えられます。では、「学習マナー」とは何か。少し例を示します。御自分でもお考えください。

- ・授業中は「おしゃべり(私語)」を絶対にしないこと。「おしゃべり」は授業妨害そのもので「絶対禁止」です。「おしゃべり」があると、先生はその日の授業を先に進められませんので「授業妨害」です。「おしゃべり」は他の人の「理解」を妨げます。「おしゃべり」している本人も学力が上がることはありません。
- ・「授業中の飲食」も、悪い「学習マナー」です。授業中に口にしてよいのは、ペットボトル等の「水分」だけです。ペットボトルは机の上に置いてはいけません。カバンの中にしのばせておき、必要なときだけカバンの中から出し、水分補給として飲むべきです。ペットボトルが机の上に置いてあると、授業を行う教室の雰囲気著しく悪くします。授業はピクニックではありません。机の上に置いてよいのは教材のみです。
- ・授業が終わったら、机の上のゴミ(消しゴムのカスや紙など)は1つにまとめてカバンの中に入れて家に持ち帰り、家のゴミ箱の中に捨てることも大切な「学習マナー」です。教室にいる全員が教室のゴミ箱の中にゴミを捨てたのでは、すぐにいっぱいになってしまいます。また、机と椅子は後の人がすぐに使えるようにきちんと整える。机と椅子はくっつけないで少し間を空けるのも大切な「学習マナー」です。
- ・校舎のトイレを使用したときに汚してしまったら、トイレットペーパーなどできれいに拭(ふ)いておくこと。学習する場所のトイレを自分が汚したら自分で始末をすることも大切な「学習マナー」です。
- ・靴は手できちんと揃(そろ)えて靴入れに入れる。靴はかかとを踏まずに履(は)く。靴を床に置くときは、ポンと床に投げずに最後まで手を添えて床に置く。また、校舎や教室のドアは音がしないように手を添えて開け閉めすること。これらも大切な「学習マナー」です。
- ・他人の悪口を口にしない。他人のいやがることをしない。自分がやられていやなことは他人にしない。重いものを持つ人がいたら手伝ってあげる。乗り物の中で身体の弱そうな人が立っていたら、元気な学生は着席しない。自転車は電気をつけて乗る。電気のつかない自転車には乗らない。これらも大切な「学習マナー」です。学力の高い人は「学習マナー」を身に付けています。
- ・人に会ったら、大きな声で元気にあいさつをする。家族やおじいちゃん、おばあちゃん、近所の人、先生、友達に「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」、「いってき

ます」、「ただいま」、「いただきます」、「ごちそうさま」、「おやすみなさい」、「失礼します」
「すみませんでした」、そして何よりも「ありがとう」、「ありがとうございました」などと、
相手に聞こえる大きな声で「元氣なあいさつができる人」は学力が高い人だと私は考えます。

- (6)「開倫模試や業者模試を毎回欠かさず受け、試験結果について毎回先生のカウンセリングを受け続けている人」は学力が高いと考えます。準備をして模試を受け、その結果を見て自分の「得意分野」や「弱点分野」をはっきりと「自覚」する。「得意分野」はどんどん伸ばす。「弱点分野」はよくできていないところまで溯(さかのぼ)って学習する。これを「遡及(そきゅう)学習」といいます。学力を高めるために、開倫模試と業者模試は毎回必ず受けてくださいね。また、試験結果について先生のカウンセリングを毎回受け続け、具体的な指導をして頂くことができるのは、学力が高い人の条件と私は考えます。

Q 4 : 最後に一言どうぞ。

A : 一言ではなく、3つあります。

- (1)開倫模試が終わったら、1～2日の間に全教科の同じ問題をもう一度やり直してください。
「間違いノート」にどこをどのように間違えたのかを必ず記入して、その分野だけでも「テキスト」をもう一回復習。「同じ間違いは二度しない」ことを目指してください。
- (2)学校から教科書・問題集・ワークブック・教材が配付されたら、全教科とも今年は何を学習するのかを知るために、配付されたその瞬間から誰に遠慮することなくどんどん予習してください。1教科でも多く、教科書まるまる1冊分の予習をできるだけ早く終わらせてください。問題集・ワークブック・教材も1教科でも多く、まるまる1冊分の予習をできるだけ早く予習を終わらせてください。その教科の学力は飛躍的に高まります。「予習はゆとりを生み出す」、学校から教科書を頂いたら徹底的に教科書の予習をしてください。
- (3)これから1年間、何を目標に学習するのかをはっきりと決めてください。小・中学生は進学を希望する高校名を一日も早く決めてください。どんなに入学が難しいと思われる高校でも、今から準備をすれば必ず合格します。高校生は進学を希望する大学名を一日も早く決めて、受験学習をスタートさせてください。自分は〇〇という学校に進学するのだという明確な目標をもって学習すれば、その希望は必ず現実のものとなります。目標をもたない人は、目標をもって学習する人にその学校への進学のチャンス(機会)を与えてあげる結果となります。それではよいのですかと、私は皆様に質問したく思います。そうならないように、進学を希望する学校を早く決めてくださいね。

以上です。開倫塾は皆様を応援します。いっしょにがんばりましょう。